福島工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)	授業科目	コミュニケーション論入門 I		
科目基礎情報							
科目番号	0011		科目区分	専門 / 必修			
授業形態	講義・演習		単位の種別と単位数	履修単位: 1			
開設学科	ビジネスコミュニケーション学科		対象学年	1			
開設期	前期		週時間数	2			
教科書/教材	授業中に指示する。						
担当教員	松江 俊一						
到達目標							
①ビジネスコミュニケーション学科の特徴を把握する。5年間の勉強方法を確立する。 ②書籍・新聞等を読み、内容についての的確に要約・コメントできる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	各授業項目の内容を理解し、応用できる。		各授業項目の内容を理解している。		各授業項目の内容を理解していない。		
評価項目2							
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	コミュニケーション学の基礎となる ①要約力、論理的な記述・発話能力を養うためのトレーニングを行う。 ②自分たちを取り巻く環境について様々な視点から知識を得る。						
授業の進め方・方法	授業中の講話や資料による知識は問題把握のきっかけにすぎない。関連する記事や書籍を自身で調べることが心掛けること。指定する方法で学習状況を記録し、試験準備等に役立てること。 中間試験は50分間の試験を実施する。期末試験は50分の試験を実施する。 定期試験60%、授業メモ・レポート・課題等40%として総合的に評価し、60点以上を合格とする。						
注意点	授業中の講話や資料による知識は問題把握のきっかけにすぎない。関連する記事や書籍を自身で調べることが心掛けること。課題等の資料を読み、毎回コメントを準備して授業に臨むこと。指定する方法で学習状況を記録し、試験準備等に役立てること。						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	イントロダクション①		授業目標の把握、学科の特徴の把握 SCDについて、アンケートの実施		
		2週	イントロダクション②		情報の入手手段、メモの取り方、手書きの重要性		
		3週	イントロダクション③		No input, no output、読書法		
		4週	日本人の型、西洋人の型(1)		高・低コンテキスト文化 型→礼儀、～道		
		5週	日本人の型、西洋人の型(2)		環境と宗教の関連性(1)		
		6週	日本人の型、西洋人の型(3)		環境と宗教の関連性(2)		
		7週	日本人の型、西洋人の型(4)		現代と江戸期の教育方法の違い		
		8週	見える世界の情報(1)		分業と仕事の役割		
	2ndQ	9週	見える世界の情報(2)		プレゼンテーションの基本 ルール・ロール・ツール		
		10週	経済のしくみと個人(1)		マッピングコミュニケーション GDPの内訳、需要と供給のバランス		
		11週	経済のしくみと個人(2)		発話の際の非言語要素の重要性 金利、株、債券、為替の基礎知識		
		12週	経済のしくみと個人(3)		フォーマル・インフォーマルモード 物価、金利、為替相場、景気の相互関係		
		13週	マスコミュニケーションと個人(1)		マスコミと歴史問題をがんが得る		
		14週	マスコミュニケーションと個人(2)		フェイクニュースについて考える		
		15週	前期学習したことの総括		前期期末試験解答用紙の返却と解説		
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	課題等	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	60	40	0	0	0	0	100
基礎的能力	60	40	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0